

農 場 運 営

(1) 指導方針

農村社会の担い手養成を主眼とする教育の場にふさわしい学習環境を設定するとともに正しい農業観を持ち、科学的知識・合理的な技術および創造的な経営能力を習得するために必要な能力と態度を育てる。

(2) 本年度の具体的目標

1. 農業の学習を通して、その生産技術と経営能力を習得させ、農業経営者及び関連産業に従事する技術者の養成と共に上級学校へ進学を希望する生徒の学力向上をはかる。
2. 意欲的に学習活動ができるよう指導体制を確立し、環境負担の少ない持続的農業を行うことができる実践的な人材の育成に努める。
3. 農場の施設・設備・圃場が、各学科の教育内容に十分適合するよう整備・充実を図るとともに、農場職員研修を深め、質の高い農業教育を推進する。

(3) 各科の研究テーマ

①アグリサービス科

- 食農教育の研究
- 地域連携の研究
- 課題研究への取り組み
- 資格取得など指導方法の研究

②農業機械科

- 自動車整備士第一種養成施設としての運営
- 資格取得の合格率を高める指導方法の研究
- 教育課程と教育内容の研究、改編
- 地域との連携の研究

③園芸クリエイト科

- 教育課程と教育内容の研究
- 施設・設備の充実
- 課題研究（プロジェクト）学習の推進
- 地域との連携の研究

④食品化学科

- 教育課程とその教育内容の研究充実
- 課題研究の推進
- 食品関連産業に従事するための知識と技術の習得への取り組み
- 地域との連携の研究
- 資格取得の推進

(4) 施設・設備

①実習地 (単位 a : アール) 合計 258.42 a

圃場名	面積	圃場名	面積	圃場名	面積
飼料作物圃	57.04	農業と環境圃	21.50	食用作物圃	23.35
野菜園	26.90	自然観察園	14.50	果樹園	84.15
茶園	14.00	その他	16.98		

②家畜 (平成28年4月1日現在)

種類	頭羽数	品種・系統
肉用牛	肉牛繁殖4 肉牛育成1	黒毛和種
鶏	産卵鶏 110	横斑プリマスロック、名古屋種 白色レグホン、ロードアイランドレッド

③主な施設 ○ : 産業教育振興法に基づく国庫補助

施設名		面積(m ²)	施設名	面積(m ²)
○農場管理棟 429.21	1階 ○生物工学室	110.77	○果樹実習室	132.36
	2階 農場職員室	141.69	○燃料貯蔵庫	8.00
○農業実験棟 684.00	1階実験準備室(更衣室)	286.24	○草花第1号温室	198.45
	〃 畜産宿泊実習室	55.76	○野菜養液栽培温室	198.45
	2階食品化学実験室	106.88	草花第2温室	149.05
	〃 食品化学準備室	32.06	○草花第3温室	150.00
	〃 応用微生物実験室	85.50	草花ハウス	457.00
	〃 応用微生物準備室	32.06	燻煙室	5.40
農業実習棟 540.0	作物実習室	120.00	農機具実習室	121.50
	草花実習室	165.00	○農業機械実習棟	81.00
	野菜実習室	165.00	機械実習室	11.25
	農具室	90.00	○製図室	99.37
菌茸実習棟 196.02	菌茸実験室	94.97	○林産実習室	98.99
	菌茸実習室	101.05	○畜舎	287.10
○食品加工実習棟 517.50	1階食品加工室	207.00	牛舎	102.60
	〃 ボイラー室	15.75	豚舎	110.70
	〃 材料室	11.25	鶏舎	64.40
	〃 冷凍貯蔵庫	8.75	育雛舎	33.64
	2階第1材料検査室	103.50		
	〃 第2材料検査室	83.70		
	〃 材料室	29.25		
○農業機械科実習棟 947.28	農業機械実習室	740.85		
	計測実習室	88.06		
	製図室	107.36		

④産振施設・設備現有・投資率（％）

平成 26 年度末

施設

科目群	情報基礎	生物生産	食品科学	自動車
現有率	18.8	20.6	48.7	30.4
投資率	18.8	21.4	48.7	30.4
科目群	流通・経済	食物	保育・福祉	全体平均
現有率	13.6	64.3	0.0	26.3
投資率	23.6	64.3	0.0	27.3

設備

科目群	情報基礎	生物生産	食品科学	自動車
現有率	18.2	15.9	32.5	0.9
投資率	21.8	18.9	38.4	0.9
科目群	流通・経済	食物	保育・福祉	全体平均
現有率	0.4	29.6	4.3	18.0
投資率	1.4	31.5	5.2	20.9